

奈良県観光戦略本部 平城宮跡周辺エリア部会 「平城宮跡のあり方」

1. 平城宮跡周辺エリア部会 検討経緯・とりまとめの概要	1
2. 令和4年度までの経緯	2
3. 平城宮跡周辺エリア部会	4
4. 平城宮跡周辺エリアの現状	8
5. 平城宮跡のあり方	18

令和7年3月21日

奈良県

1. 平城宮跡周辺エリア部会 検討経緯・とりまとめの概要

■ 平城宮跡周辺エリア部会の検討経緯

- 奈良県観光戦略本部に、令和6年5月、県内外の有識者からなる平城宮跡周辺エリア部会を立ち上げ、5回開催し、平城宮跡のにぎわいづくりに向けて様々な視点から意見交換を行い、以下のとおりとりまとめを行った

平城宮跡のあり方（概要）

■ 構想・コンセプト

- 部会では平城宮跡で更なるにぎわいを創出するために、「食」と「クリエイティブな活動」をキーワードに、構想・コンセプトを「“日本の食のはじまりは奈良” 世界と交わり・地域とつながる空間づくり」とすることで意見が一致。

■ 「食」に着目した背景

- 奈良時代、平城京はシルクロードを通じて世界の様々な文化が伝えられるとともに、国内からは租庸調、^{にえ}贄のシステムに基づき、様々な特産物が集まることで、日本の食文化のルーツが築かれた場所であること。
- より美味しく、より長期間保存ができる食品加工技術が、奈良県において開発され、味噌等の発酵食品が生まれ、その技術が国内各地に伝播したという歴史があること。
- 食文化において、日本食や日本酒は、ユネスコ無形文化遺産にも登録され、国内外で日本食に対する関心が非常に高まっており、海外においても日本食レストランが増えていること。

■ 導入機能

- 奈良時代のストーリーや日本食への関心の高まりを踏まえ、平城宮跡では、県内外、世界への繋がりを演出する「食のハブ拠点の創出」として、集客力や訴求力がある複合施設などを誘致するとともに、ガストロノミーツーリズムや食のイベントの実施、クリエイターが活躍できる場の提供などの機能を核に位置付ける。
- さらに、それを実現するために、以下の5つの構成要素を位置付ける。
 - ①「平城京を感じられる空間づくり」
 - ②公園内外におけるアクセスなど「交通環境の充実」
 - ③周辺観光地との繋がりを強化する「周辺環境の充実」
 - ④広く国内外に平城京のストーリーを伝える「情報発信」
 - ⑤民間主導型イベントの誘致など「地域との連携・協働」
- 平城宮跡は、国内外からさまざまな人や物が集まり、新しい国づくりのためのチャレンジ、クリエイトがなされた、場所であるため、史実になじむようなストーリー性がある、にぎわいの場としていく。

2. 令和4年度までの経緯

■ 県営公園区域における取組（ハード）

- 平城宮跡の正面玄関である「朱雀門ひろば」（朱雀大路西側地区を含む）を、平成30年3月24日に開園。
- 平城宮跡の利活用推進事業として、朱雀大路西側地区の運営及び維持管理、平城宮跡南側地区に仮設駐車場をオープン（令和3年10月）するとともに、朱雀大路東側地区（歴史体験学習館）の施設整備の検討、平城宮跡南側地区における公園整備の検討を進めてきた。

朱雀大路西側地区の運営及び維持管理

朱雀大路西側地区
（平成30年開園）

約3.1ha



平城宮跡南側地区に仮設駐車場のオープン（令和3年10月）



仮設駐車場の利用状況

平城宮跡南側地区における公園整備の検討



平城宮跡南側地区（未整備） 約5ha

【整備コンセプト】歴史を感じながら、憩いくつろげる快適空間を整備

【施設の計画概要】管理事務所（施設規模：約450m²）
防災倉庫・便所（施設規模：約150m²）
屋根付き広場（施設規模：約700m²）
便益施設（カフェ等）（施設規模：約300m²）
子供が利用できる施設、駐車場

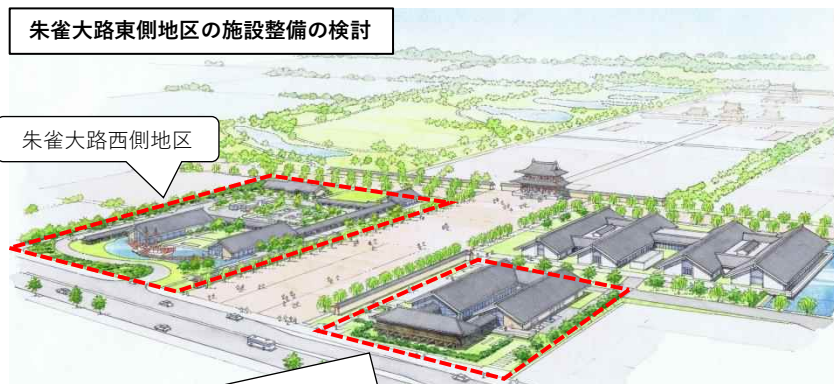
朱雀大路東側地区の施設整備の検討

朱雀大路西側地区

朱雀大路東側地区（未整備） 約0.9ha

【整備コンセプト】“奈良時代を今に感じる”歴史文化体験と交流の舞台

【施設の計画概要】歴史体験学習館（施設規模：約3,000m²）

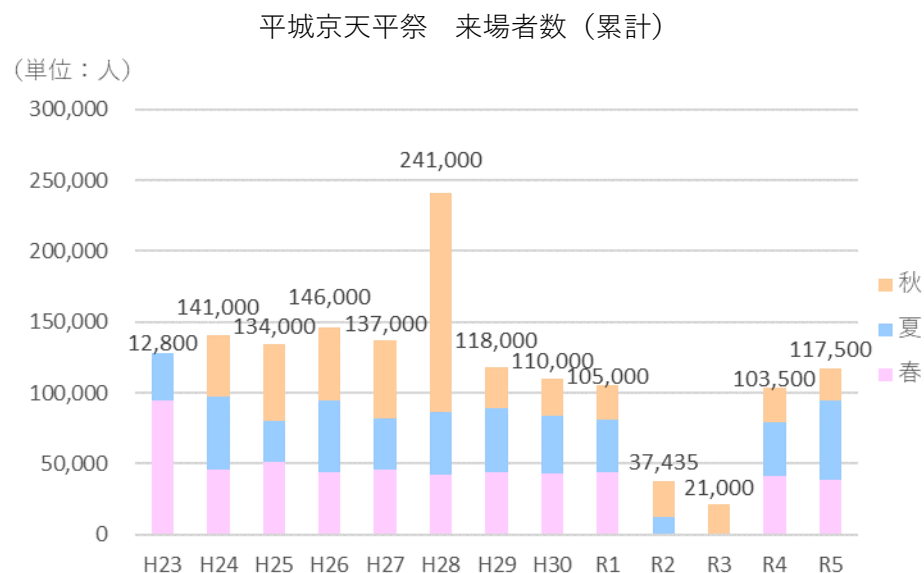


2. 令和4年度までの経緯

■ 県営公園区域における取組（ソフト）

- ・ 平城宮跡のにぎわい創出、平城宮跡及びその周辺の歴史・文化資産の価値を広めるため、平成23年度から「平城京天平祭」として、春・夏・秋の季節毎に特色にあるイベントを実施してきた。
- ・ しかしながら、「平城京天平祭」の認知度は低く、飲食ブースに来訪者が集中し、平城宮跡及びその周辺の歴史・文化資産の価値を広めるためのコンテンツの人気度、満足度は低い結果となっていた。

【県民アンケート調査】 行ったことがある：17.1%、知っているが行ったことはない・知らない：81.9%



出典：奈良県データより作成

※1R2春、R3春・夏は中止

※2H28秋は、平城京天平祭と併せてブルーインパルス飛行展示を実施



平城京天平祭 左：春 天平行列 右：秋 衛士隊



平城京天平祭 夏 左：天平七夕行列 右：燈花会



3. 平城宮跡周辺エリア部会

■ 令和5年度 平城宮跡歴史公園（県営公園区域）における取組の見直し

- 平城宮跡歴史公園は、さらなる賑わいや魅力向上が必要であるが、新たな建物の建設を前提とするのではなく、必要があれば既存の施設を活用しつつ、今後のあり方を再検討し、観光地としての魅力の抜本的強化に取り組むこととした。
- このため、国とも協議しながら、東側、南側エリアともに、公園としての利活用の可能性を含め今後のあり方を再検討することとした。
- イベントについても、これまでの方法を継続実施しても、当初の目的を達成することは困難と判断し、令和6年度は「平城京天平祭」（夏・秋）を一旦廃止することとした。

■ 平城宮跡周辺エリア部会（事務局：まちづくり推進局）

- 令和6年度は、奈良県観光を取り巻く環境の変化を踏まえ、本県の観光施策を機動的かつ戦略的に推進するために設置した「奈良県観光戦略本部」において、**平城宮跡周辺エリア部会を立ち上げ**、既存施設の活用や民間活力の導入も含めた公園の整備方針について、有識者を交えて検討を進めることとした。

（参考）観光戦略本部（事務局：観光局）

< 設置の趣旨 > 観光に関わるビジネス・プロフェッショナルを始めとする民間の知見を活かし、奈良県の観光GDPの飛躍的かつ持続的な拡大を目的として、観光施策を躍動的かつ戦略的に躍進することにより、奈良県経済の発展を図る。

< 成果目標 > 観光戦略本部では、従来のような理念的・総合的な計画を確定することではなく、県内の各エリアの観光地としての魅力を向上させ、かつ、それぞれのエリアにふさわしい実践的な施策を推進することを目指す。

< 構成 > 本部には、「本部会議」及び「部会」を設置。本部会議で、部会の設置を決定。

本部会議

「本部会議」は、各部会の検討状況等について適宜報告を受けるほか、県全域を俯瞰した全体的な議論や部会における重点的な取組の整理等を行う。

部会

「部会」は、それぞれのテーマに基づき、課題やあるべき将来像、それに向けた取組の方向性等について議論を行うとともに、具体的かつ実践的な施策について検討を行う。検討の状況に応じて、適宜本部会議に対して報告を行う。

第1回本部会議において設置した部会 (5/15開催)

- ①近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア
- ②**平城宮跡周辺エリア**
- ③中部エリア（○斑鳩 ○山の辺の道 ○飛鳥・藤原）
- ④南部・東部エリア（○吉野・天川、○金剛・葛城 ○十津川 ○宇陀）

3. 平城宮跡周辺エリア部会

■ 平城宮跡周辺エリア部会 名簿

	氏 名	役 職 等	専 門
部会委員長	内藤 廣	建築家・東京大学名誉教授	建築
部会委員	青柳 正規	奈良県立橿原考古学研究所 所長	文化財
	磯部 洋子	sPods株式会社 Founder	マーケター
	鵜殿 裕	株式会社日本経済研究所 上席研究主幹	ファイナンス
	大木 秀晃	株式会社OOAA クリエイティブディレクター	マーケター
	杉山 尚美	ガストロノミーツーリズム研究所 CEO	食
	馬場 基	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長	文化財
	平賀 達也	株式会社ランドスケープ・プラス 代表取締役	ランドスケープ
	藤本 壮介	建築家・藤本壮介建築設計事務所 代表取締役	建築
	湯山 壮一郎	元奈良県副知事	行政
オブザーバー	柳澤 秋介	国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所 所長	
奈良県知事	山下 真		

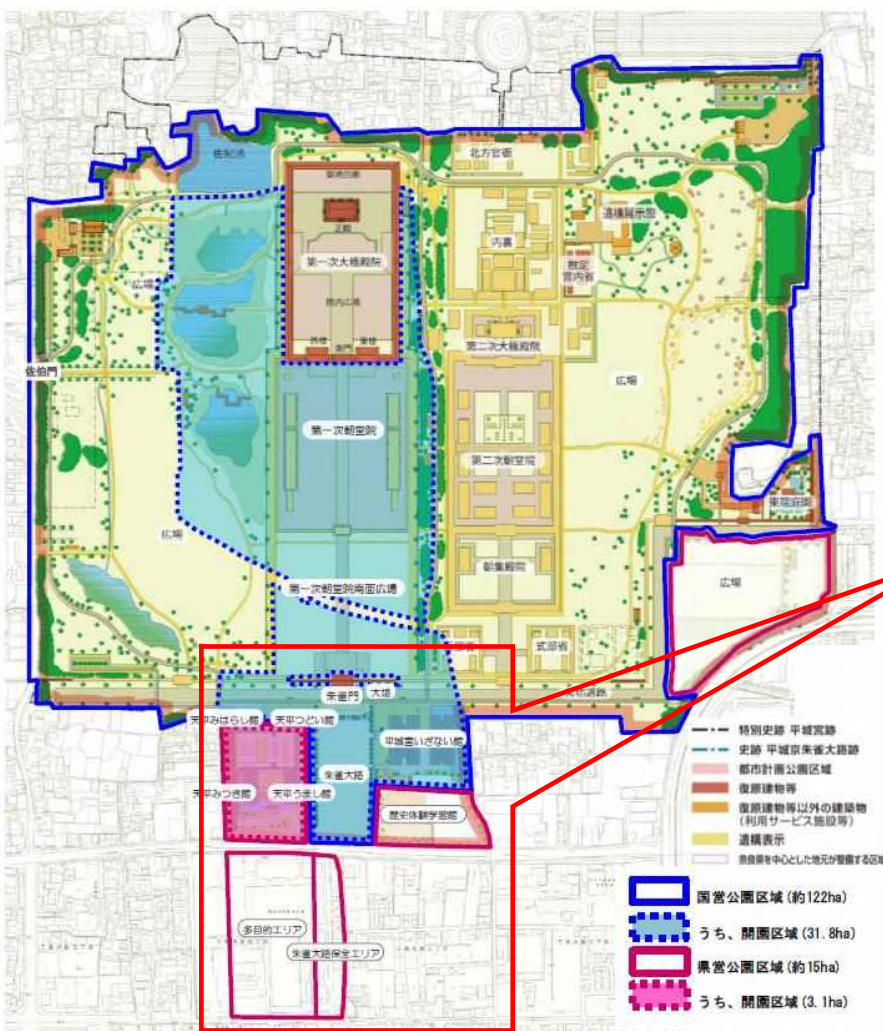
■ 平城宮跡周辺エリア部会 検討経緯

現地視察・ 部会での意見交換	第1回部会 (令和6年9月9日)	○平城宮跡の特性、あり方、事業手法、今後の進め方について意見交換
部会でのアイデア出し	第2回部会 (令和6年10月8日)	○構想・コンセプト、導入機能についてアイデア出し
	第3回部会 (令和6年12月16日)	○平城宮跡のあり方（素案）：構想・コンセプト、導入機能を検討 ○事業手法（素案）についてアイデア出し
	第4回部会 (令和7年1月27日)	○平城宮跡のあり方（案）：構想・コンセプト、導入機能を検討 ○事業手法（案）についてアイデア出し
部会でのとりまとめ	第5回部会 (令和7年3月21日)	○平城宮跡のあり方のとりまとめ ○事業手法（案）

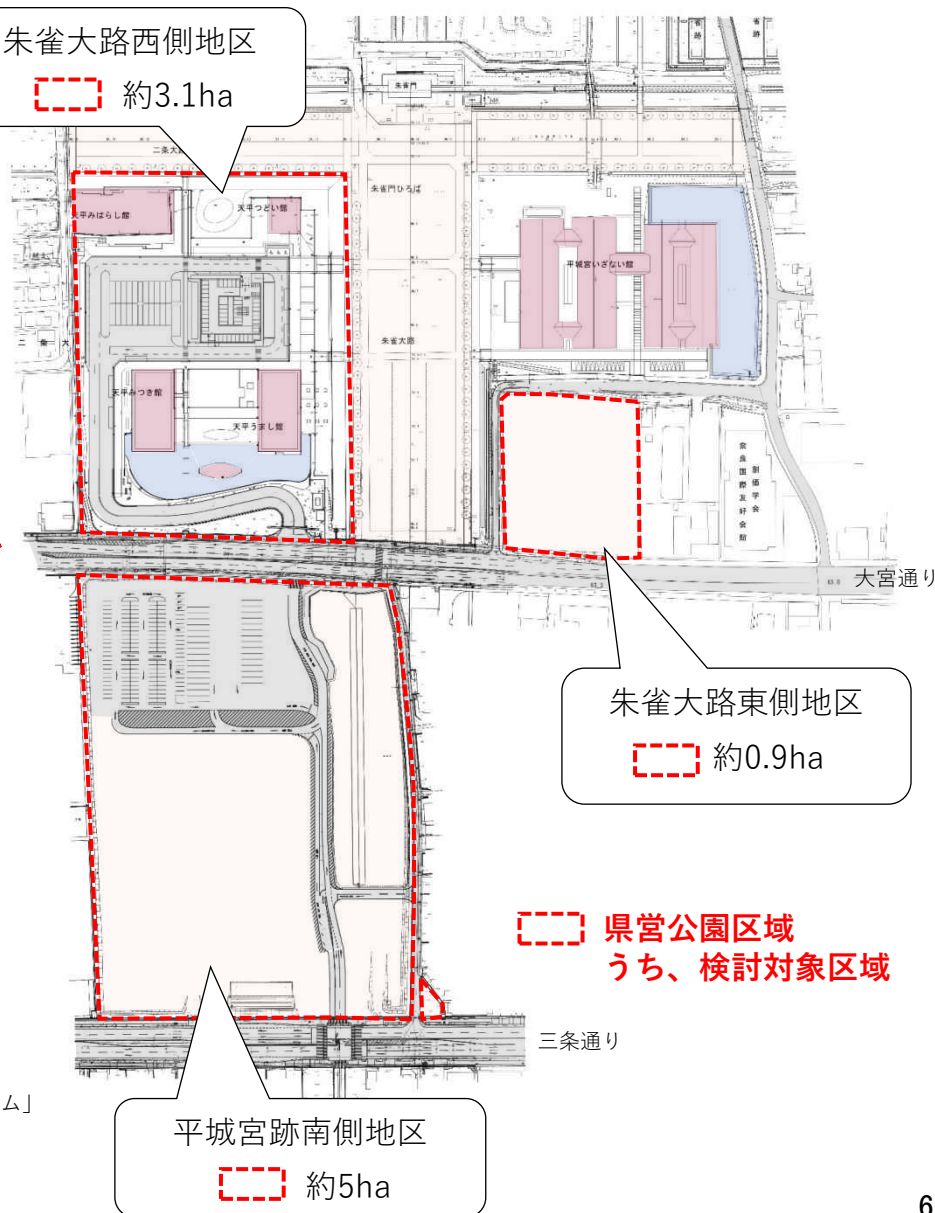
3. 平城宮跡周辺エリア部会

■ 平城宮跡歴史公園（全域）

■ 県営公園区域（検討対象区域）



朱雀大路西側地区
約3.1ha



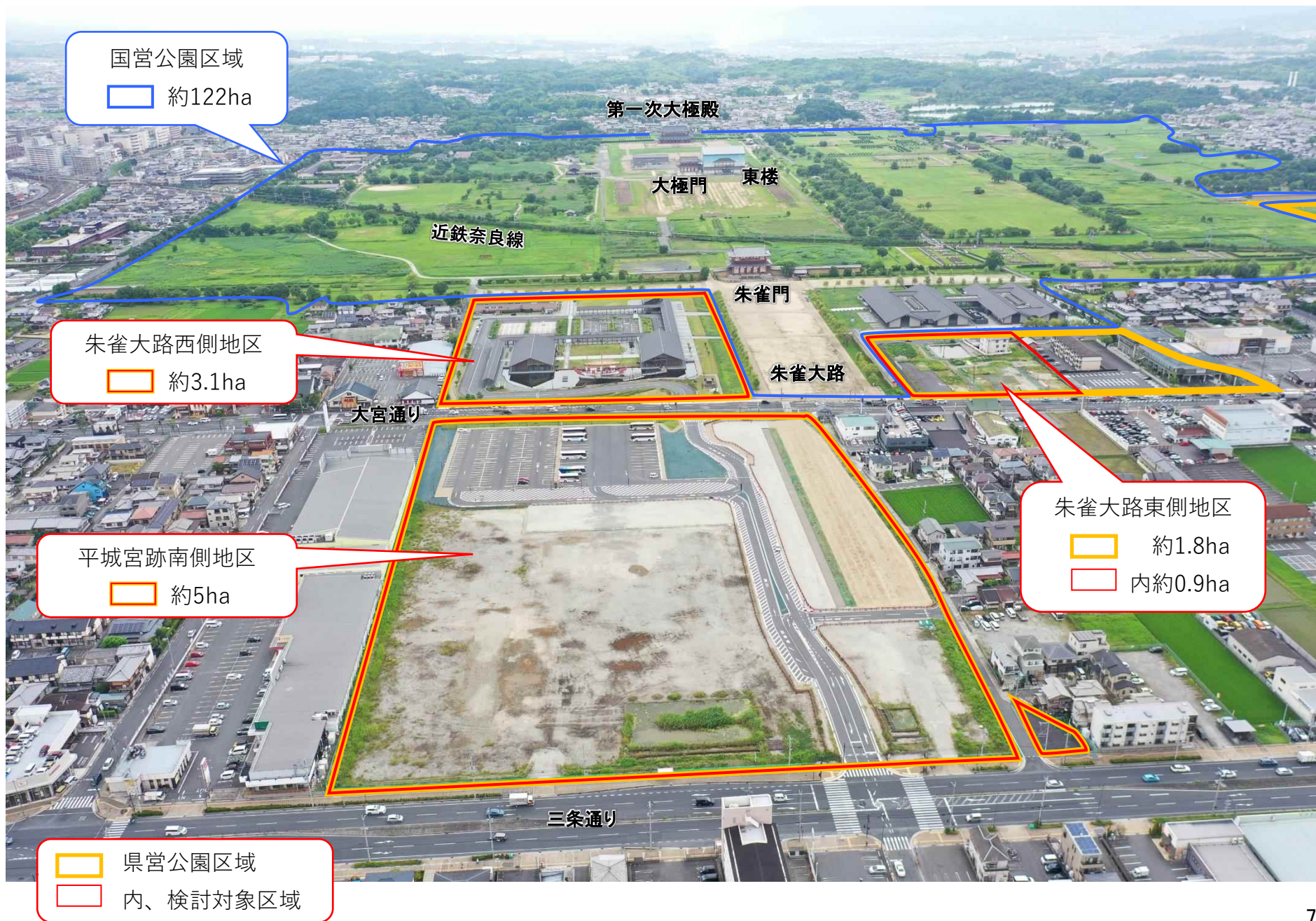
朱雀大路東側地区
約0.9ha

県営公園区域
うち、検討対象区域

平城宮跡南側地区
約5ha

出典：国土交通省 近畿地方整備局
「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域（国営平城宮跡歴史公園）整備・管理運営プログラム」（令和3年6月）

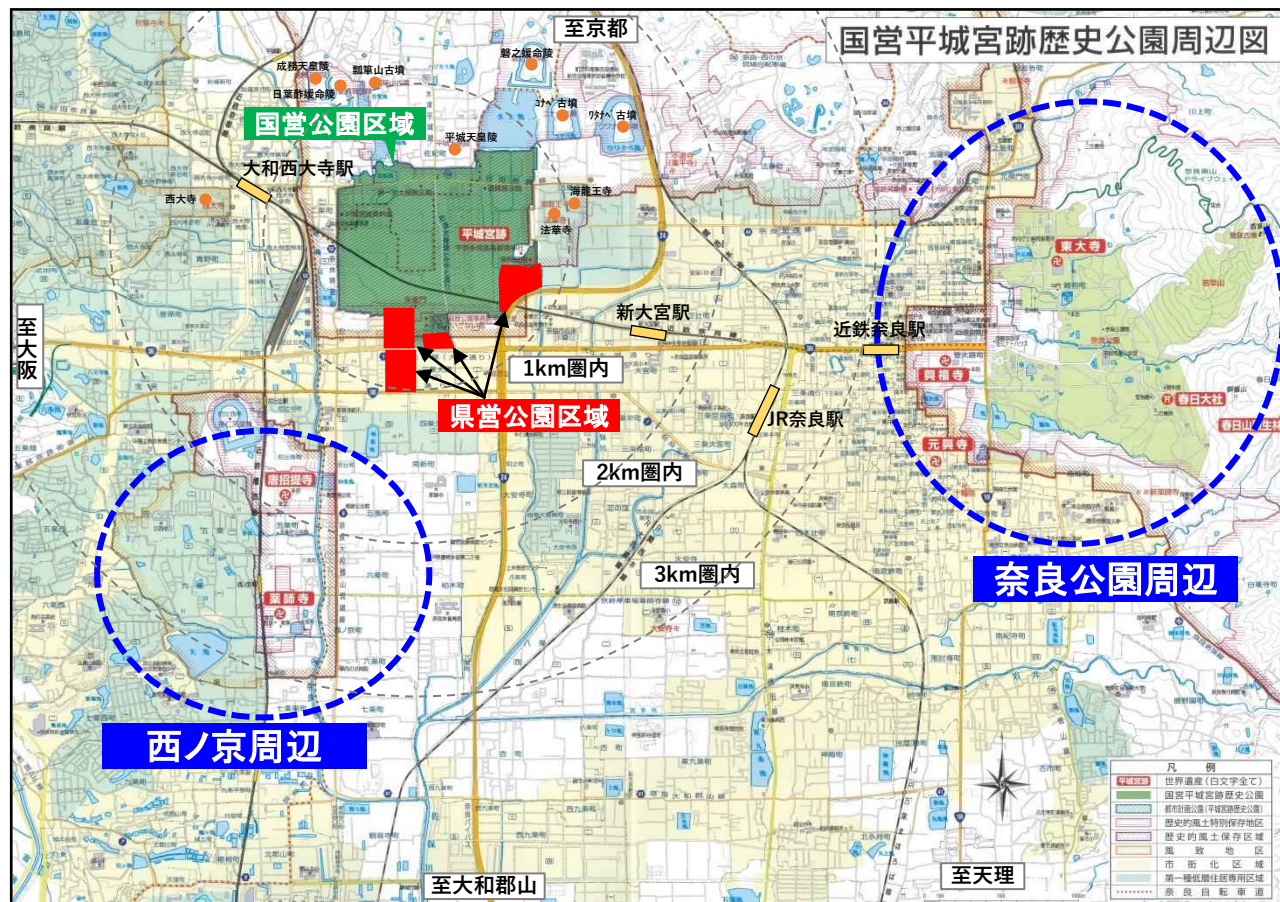
3. 平城宮跡周辺エリア部会



4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■立地特性

- ・ 平城宮跡歴史公園は、近畿地方のほぼ中央、京都・大阪まで40km圏内に位置している。
- ・ 平城宮跡歴史公園は、奈良市内の主要観光エリア（**奈良公園周辺、西ノ京周辺**）と隣接している。
- ・ 周辺には、平城天皇陵をはじめとした古墳、西大寺や法華寺など、歴史的・文化的資源が立地している。
- ・ **自動車交通**は、近辺の道路網によって京都・大阪・名古屋のいずれの方向に対しても**良好なアクセス**を持つ。
- ・ 鉄道交通は、**近鉄大和西大寺駅・新大宮駅の2駅が最寄り駅**であり、徒歩10～20分程度の距離にある。



【平城宮跡歴史公園】

- ・ 面積：約137.0ha
 - 国営公園区域：約122ha
 - 県営公園区域：約15ha

国営平城宮跡歴史公園周辺図より作成

4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■ 県営公園区域（既設：朱雀大路西側地区）



施設	概要
天平うまし館 （飲食・交流棟）	約1,000㎡ 複原遣唐使船展示解説施設、交流イベントスペース、レストラン、カフェ、物販スペース、トイレ
天平みつき館 （観光案内棟）	約1,000㎡、観光案内施設、バス待合スペース、キッズスペース、授乳室、トイレ
天平みはらし館 （休憩・宮跡展望棟）	約1,700㎡、休憩施設、展望施設、ジョギング・サイクリングステーション、レンタサイクル貸出所、VRシアター、公園管理事務所、トイレ（2カ所）
天平つどい館 （団体集合棟）	約300㎡、来訪者用団体集合施設、観光案内所、トイレ
交通ターミナル	乗用車（42台）、乗合自動車（20台）、奈良県おもいやり駐車区画（3台）



天平うまし館

遣唐使の歴史解説コーナーを経て復原遣唐使船に乗り込んでいただきます。公園の景色を楽しめるカフェ、レストランでゆっくりお過ごしください。県内の特産品などを販売する物販スペースや、体験メニュー、企画展等を行う交流スペースもあります。



天平みつき館

奈良県内の観光情報をご案内します。また、キッズスペースや授乳室、バスの待合所などがあり、休憩スペースとしてご利用いただけます。



天平みはらし館

展望デッキや展望室から平城宮跡の眺望が楽しめます。映像で学べるVRシアターやレンタサイクル貸出所、ジョギング・サイクルステーションもあります。



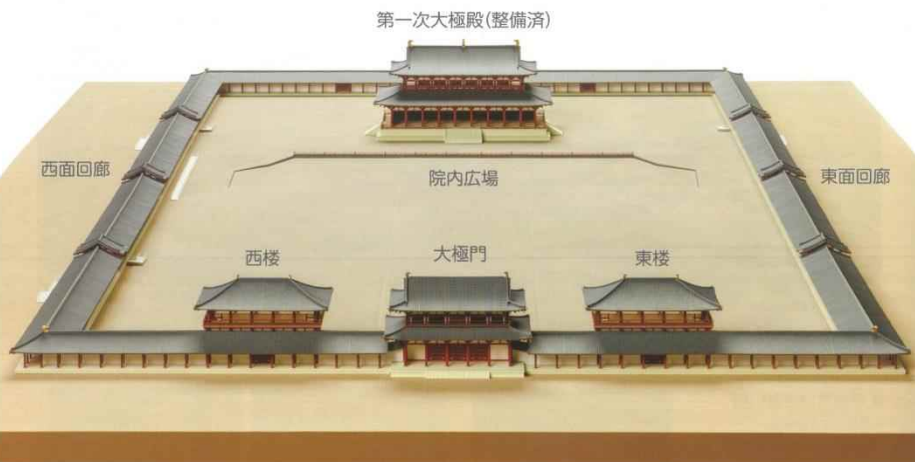
天平つどい館

修学旅行など団体客の集合スペースです。公園内の各施設の利用案内などの情報提供を行います。

4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■国営公園区域

- 国営公園区域では、往時の平城宮の壮大・壮麗・壮厳さを体感できるよう、これまでの発掘調査や様々な研究に基づき、第一次大極殿院建造物の復元を行っている。



第一次大極殿院復元イメージ



木曳祭(こびきさい)

南門復元工事で使われる吉野ひのきの大柱を大宮通りから朱雀門まで地元小学生の子供達で曳くイベントを開催



特別公開

第一次大極殿院南門復元整備工事の進捗に伴い、期間限定で見学できる特別公開を開催

南門復元工事



大極門は、第一次大極殿院の正門(南門)であり、儀式の際には、天皇が出御することもありました。
入母屋造の五間三戸二重門に復元され、間口約22.1m、奥行約8.8m、高さ約20.0mと、朱雀門よりやや小さな礎石建ちの建物です。門号に関する記事は文献資料に見ることが出来ず、日本や中国の宮跡等の事例研究から「大極門」と命名しました。



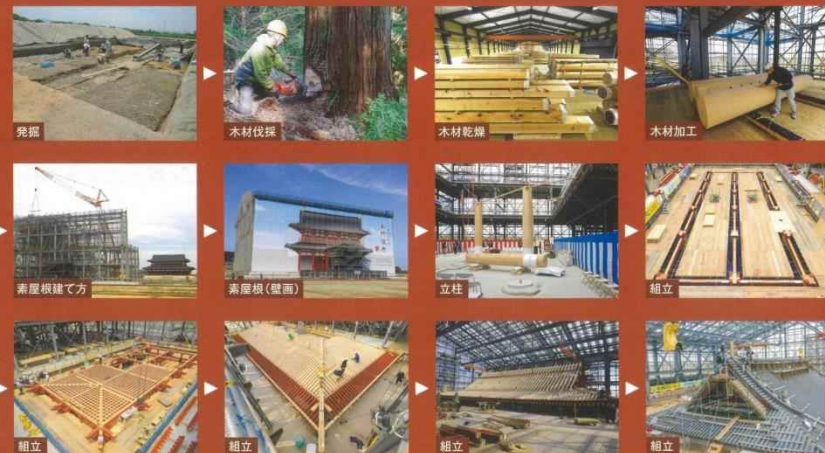
■概要

工期:2017年11月~2022年3月
基壇:流紋岩質溶結凝灰岩(黄竜山石)
礎石:花崗岩
(国道161号志賀BP、大戸川ダム付替道路の現場発生自然石)
木材:ヒノキ、ケヤキ
(主に紀伊半島産、総量480㎡、部材数8,000丁)
塗装:丹土・胡粉・緑青塗
土壁:漆喰塗り
屋根:本瓦葺
鋳金物:銅・青銅・金メッキ・金箔押し



南門にのせた復元瓦

■工程



出典:「平城宮跡歴史公園 事業概要」国営飛鳥歴史公園事務所より抜粋

4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■主なイベントの開催状況

- 公園管理運営の円滑実施を行うための連絡調整として、文化庁、国土交通省、独立行政法人奈良文化財研究所、奈良県、国営公園管理者、県営公園管理者の6者にて「平城宮跡歴史公園管理運営調整会議（平城6者協）」を開催し、イベント情報、園内の工事予定等を協議・共有している。

<国営公園区域における主なイベント>



<県営公園区域における主なイベント>



<奈良文化財研究所による主なイベント>



令和4年の平城宮跡史跡指定100周年を記念したキャラクター作成

<民間による主なイベント>

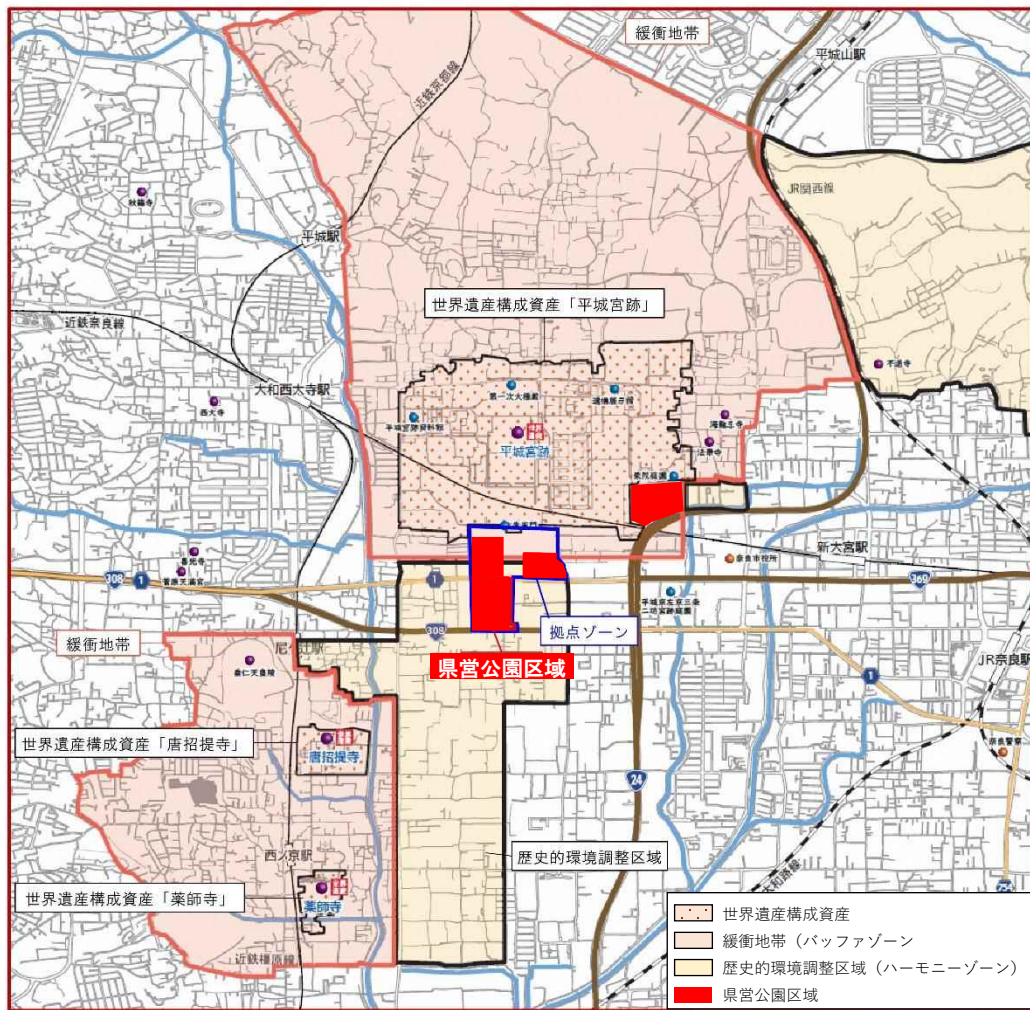
- 【開催日時】 令和6年10月11日～14日
 【内 容】 食のフェスタ、スポーツ体験、花火や音楽イベント他
 【主 催】 秋の散楽フェスタ実行委員会
 【後 援】 文化庁、奈良県他



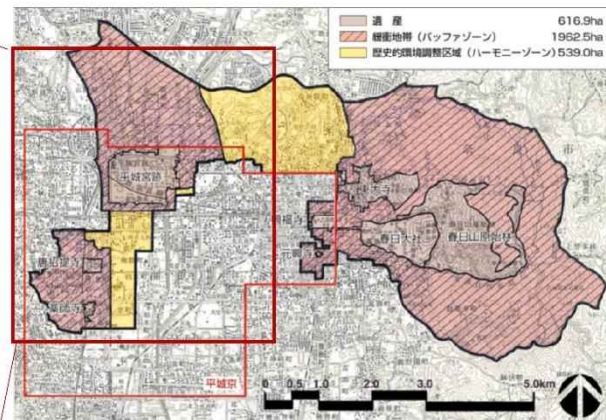
4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■世界遺産「古都奈良の文化財」（構成資産：平城宮跡）

- ・ 特別史跡平城宮跡は、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産に位置づけられている。
- ・ **県営公園区域**は、構成資産の区域に含まれないが、**緩衝地帯及び歴史的環境調整区域に位置**づけられている。



計画地と世界遺産の範囲



世界遺産の範囲図

緩衝地帯（バッファゾーン）

各資産の周辺部は、従来から、建築物等の意匠、携帯、色彩及び高さ等を規制する各種法律・条例等により総合的に保全されている。その中から各構成資産を保護するために必要な区域を緩衝地帯として位置付ける。同地帯における歴史的風土、風致景観及び町並み景観が、各構成資産の価値を保証する。

歴史的環境調整区域（ハーモニーゾーン）

風致景観の保全及び市街地環境の維持を目的とした各種法律・条例等による規制区域の中から、遺産全体を包括的に保全するための歴史的環境調整区域として位置付ける。同区域は古都奈良の歴史的風致景観と都市開発等との調和を図っている。

4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■整備に係る主な法規制（県営公園区域）

- ・ 県営公園区域において整備を行う場合は、都市公園法のみならず、平城宮跡の歴史的・文化的価値に配慮し、建築基準法、都市計画法、文化財保護法等の法規制を遵守する必要がある。

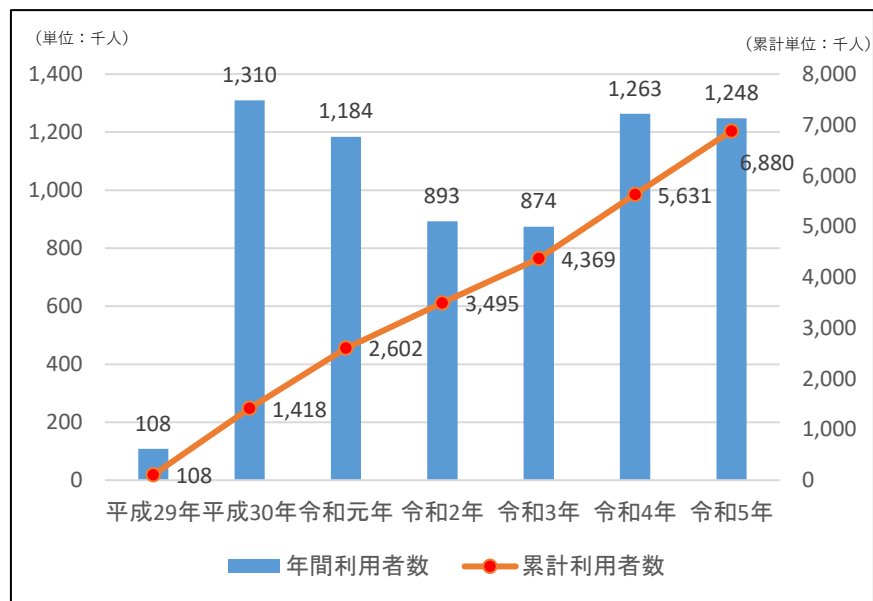
協議先	法令等	内容	朱雀大路西側地区 朱雀大路東側地区	平城宮跡南側地区	
奈良市	建築基準法	建蔽率	60%		
		容積率	200%		
	都市計画法	用途地域	第 1 種住居地域		
		区域区分	市街化区域		
		高度地区	一部10m高度地区、一部15m高度地区	15m高度地区	
		風致地区（種別）	一部第 3 種風致地区		
		歴史的風土保存地区	平城宮跡保存区域		
		景観区域	歴史的な風土景観区域（歴史）		
		景観形成重点地区	大宮通り沿道景観形成重点地区（歴史型）		
		文化財保護法	史跡	該当あり	
埋蔵文化財	該当あり				
奈良県	都市公園法		都市公園（県営公園区域）		
		建ぺい率	特例施設（上限10％）、一般施設（上限2％）		
	世界遺産条例	世界遺産	緩衝地帯（バッファゾーン） 歴史的環境調整区域（ハーモニーゾーン）	歴史的環境調整区域（ハーモニーゾーン）	

4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■ 人流解析（利用状況）

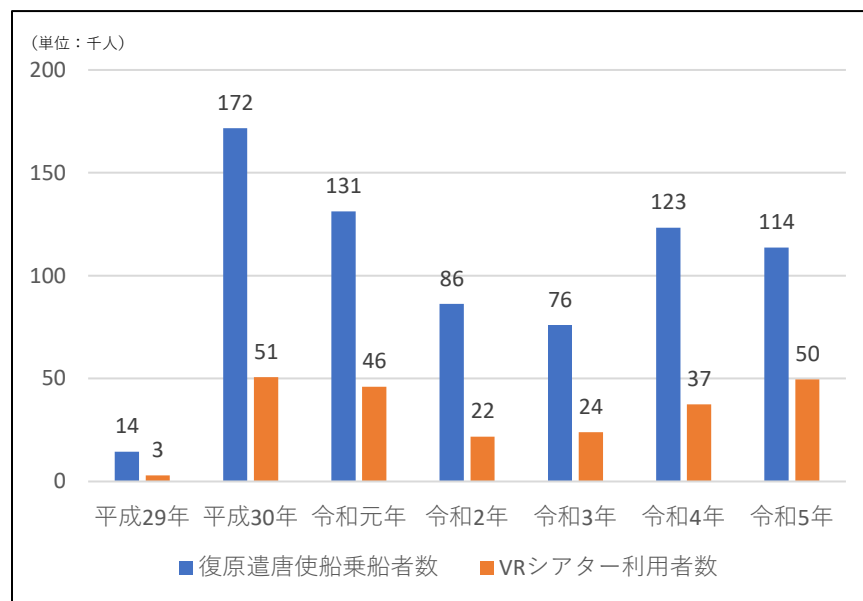
- ・ 奈良公園には、**1,300万人/年**が訪れている。（**奈良公園**に観光客が**集中**している。）※奈良県調べ
- ・ 平城宮跡歴史公園には、**130万人/年**が訪れている。（**奈良公園の1/10**しか来ていない。）
- ・ 平城宮跡歴史公園全体としては、コロナ禍以前同等の利用状況に回復しつつある。
- ・ 一方で、県営公園区域の施設利用状況としては、コロナ禍以前同等の利用状況には依然として戻っていない。

平城宮跡歴史公園 利用者数の推移



出典：国土交通省 近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所提供データより作成

県営公園区域（朱雀大路西側地区） 施設利用者数の推移



※指定管理期間中（平成29年12月1日～）の朱雀大路西側地区の施設利用状況
出典：県データより作成

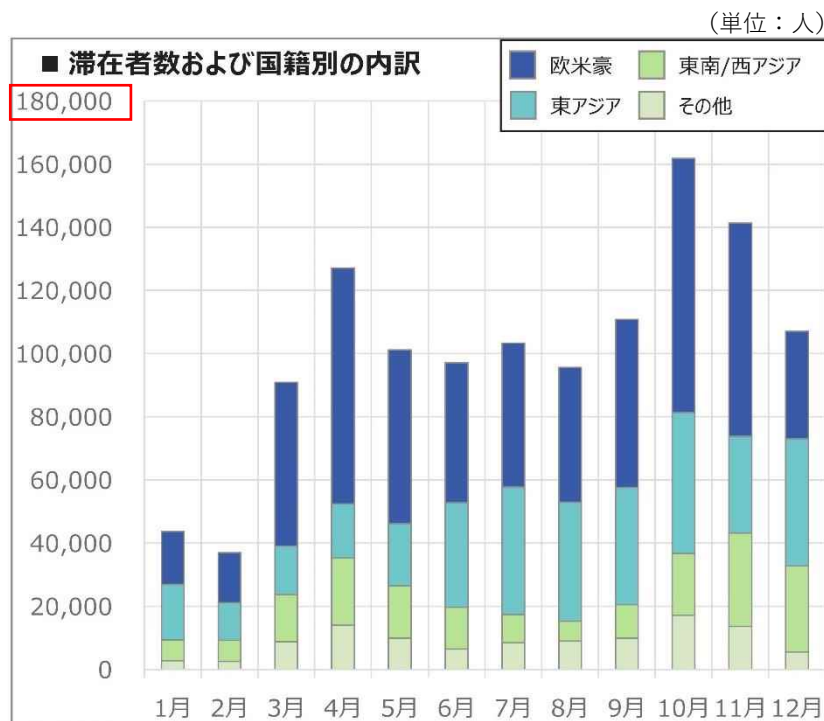
4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■ 人流解析（インバウンド）

- ・ **インバウンドも、奈良公園周辺エリアに集中。**西の京・平城宮跡エリアには、**奈良公園周辺エリアの2%程度**しか訪れていない。
 - ・ 両エリアとも、欧米豪及び東アジアからの来訪者が大半を占める。
 - ・ 西の京・平城宮跡エリアは、6月から12月にかけて東アジアからの来訪者が増加する傾向にある。
- 〔 令和6年（2024）5月、日本に訪れたインバウンドは3,040,100人。前年同月比では60.1%増。同月過去最高であった平成31年（2019）5月を20万人以上上回り、3か月連続で300万人を突破。（日本政府観光局調べ） 〕

令和5年度 奈良公園エリア（インバウンド）

令和5年度 西の京・平城宮跡エリア（インバウンド）



出典：奈良県観光データ「見える化」推進事業 実施結果報告書
データ提供：「Japan Travel by Navitime」のGPS

4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■ 人流解析（日本人観光客）

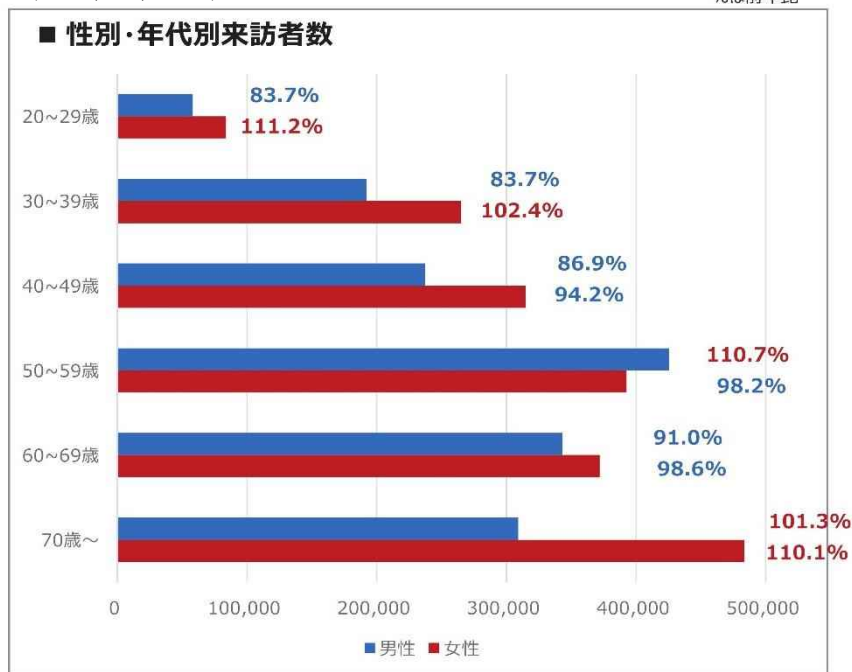
- ・ **日本人観光客も、奈良公園周辺エリアに集中。**平城宮跡エリアには、各年齢層、性別とも、**奈良公園エリアの50%程度**しか訪れていない。
- ・ **奈良公園エリア**は、各年齢層とも、**女性の来訪者を獲得**できている。
- ・ **平城宮跡エリア**は、各年齢層とも、男性の来訪者が大半を占め（**女性が少ない**）、特に、**40歳未満の女性を獲得できていない**。また、年齢層が高くなるにつれ、来訪者数が増える傾向にある。

令和5年度 奈良公園エリア（日本人観光客）

（単位：人）

（N=3,477,084人）

%は前年比



令和5年度 平城宮跡エリア（日本人観光客）

（単位：人）

（N=1,784,494人）

%は前年比



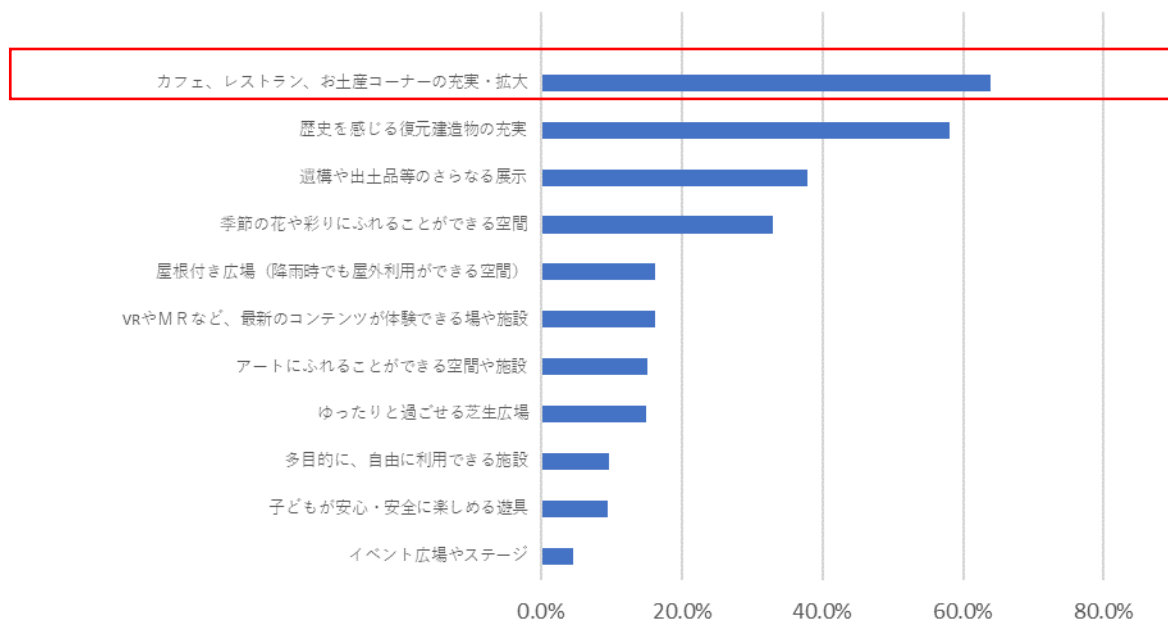
4. 平城宮跡周辺エリアの現状

■ ニーズ分析（求められる施設・機能）

- ・ 奈良公園に来訪経験のある人の**80%以上**が、**平城宮跡歴史公園の来訪経験がない**ことが把握できた。
- ・ **そのうちの60%以上**が、平城宮跡歴史公園で「**カフェ、レストラン、お土産コーナーの充実・拡大**」が行われれば、平城宮跡歴史公園への来訪意欲を示している。
- ・ **訴求力・集客力のある食を提供**できる場が求められている。

【質問】どのような施設が充実すれば、平城宮跡歴史公園に行ってみたいとおもいますか。
（奈良公園来訪者（N=496）のうち、平城宮跡歴史公園への来訪経験がない人 N=421）

（単位：％）



出典：奈良県（令和6年度調査）データより作成